各 位

会 社 名 **ミサワホームホールディングス株式会社** 代表者名 代表取締役 水 谷 和 生 (コード番号 **1722** 東証・大証・名証第1部) 問合せ先 ^{常務執行役員} 酒 井 征 二 (TEL.03-3345-1111)

当社子会社(ミサワホーム北日本株式会社)に関するお知らせ

当社子会社であるミサワホーム北日本株式会社が下記事項について公表いたしましたのでお知らせいたします。

- 1.株式会社産業再生機構による支援決定について
- 2.特別損失の計上及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

以上



平成16年12月28日

各 位

会 社 名 ミサワホーム北日本株式会社 代表者 代表取締役 下 村 秀 樹 (コード番号 1748 JASDAQ) 問合せ先 常務取締役 福 田 好 史 (TEL.018-824-1111)

株式会社 産業再生機構による支援決定について

当社は、本日開催の取締役会で、「事業再生計画」を承認の上、当社および当社の所属するミサワホームグループの中核会社であるミサワホームホールディングス株式会社(代表取締役:水谷 和生)ほか関係会社29社と、株式会社ユーエフジェイ銀行(頭取:沖原 隆宗、以下「UFJ銀行」)の連名で、本日、株式会社産業再生機構(代表取締役:斉藤 惇、以下「産業再生機構」)に支援の申し込みを行い、支援決定の通知を受けましたのでお知らせいたします。

この度の産業再生機構への支援申込につきましては、財務体質を飛躍的に改善し、早期の再生を確実なものとするためにミサワホームグループ一体として行うものであります。「事業再生計画」は本業であるコア事業(住宅及び住宅関連事業)に完全に集中するものであり、当社をはじめとした販売会社の営業支援体制の強化を柱にしたものです。

また、当社においては株主の皆様へ減資、取引金融機関様へ債権放棄をお願いする予定はございません。 今後は、ミサワホームグループー丸となって「事業再生計画」の確実な達成に向けて努力してまいりま す。その中で当社も中核である住宅事業の一社として計画達成に向けて全社をあげて推進してまいります ので、ご高配、ご支援を賜りますようお願いいたします。

記

・業績に与える影響

当社は、事業計画の見直しを実施したことにより、平成17年3月期(平成16年4月1日から平成17年3月31日)の連結決算、単独決算の業績予想につきましては、大幅な下方修正になります。本日適時開示いたします「特別損失の計上及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

以上



各 位

会 社 名 ミ サ ワ ホ ー ム 北 日 本 株 式 会 社 代表者名 代 表 取 締 役 下 村 秀 樹 (コード番号1748 JASDAQ) 問合せ先 常 務 取 締 役 福 田 好 史 (TEL.018-824-1111)

特別損失の計上及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

本日、平成16年11月19日の中間決算発表時に公表いたしました平成17年3月期(平成16年4月1日 ~ 平成17年3月31日)の業績予想を下記の通り修正いたします。

記

1. 当期の業績予想数値の修正(平成16年4月1日~平成17年3月31日)

(1)連結 (単位:百万円) 売 上 高 経 常 利 益 当期純利益 予 前 発 表 想 (A) 7,810 68 39 今 発 表 予 想 (B) 7,002 166 1,171 増 234 1,210 減 額(B) (A)808 増 率 (%) % 減 10.3 % % (ご参考)前期実績(平成16年3月期) 7,697 30 56

(2) 単独 (単位:百万円) 当期純利益 売 上 高 経 常 利益 発 予 7,800 70 40 前 表 想 (A) 予 今 発 表 想 (B) 6,992 164 1,170 増 234 1,210 減 額(B) (A)808 増 (%) 10.4 % 減 率 % % (ご参考)前期実績(平成16年3月期) 26 7,646 51

2.修正の理由

近年、当社におきましては、営業人員の再配置や営業経費の削減等に努めてまいりましたが、受注が減少し結果、無理・無駄が発生する悪循環となっておりましたが、受注及び施工の効率化・平準化を推進するとともに、分譲販売に注力することにより継続的な成長を目指すことといたしました。

これにより、平成16年度下期の完工棟数計画を見直した結果、売上高及び経常利益を修正いたしました。また、グループ全体の財務体質改善における一連の措置により、販売用不動産の販売価格の見直し及び固定資産の減損会計導入を見据えた処理などにより、連結、単独ともに約10億円の特別損失を計上いたします。

以上